

チャイロケシカタビロアメンボの 京都府と滋賀県における発見と生息環境

増田 倫士郎*・中尾 史郎*

Discovery of *Microvelia japonica* Esaki et Miyamoto (Hemiptera: Veliidae) in Kyoto and Shiga Prefectures, with notes on its habitats

Rinshiro MASUDA* and Shiro NAKAO*

Synopsis: *Microvelia japonica* Esaki et Miyamoto was recorded from Kyoto city in Kyoto Prefecture and Otsu city in Shiga Prefecture, western Honshu, Japan. We describe a brief note on its habitats.

(Received September 30, 2011)

要旨: 京都府京都市と滋賀県大津市において、これまで両府県で未記録であったチャイロケシカタビロアメンボを発見した。その生息環境について報告する。

(2011年9月30日受理)

はじめに

チャイロケシカタビロアメンボ *Microvelia japonica* Esaki et Miyamoto はケシカタビロアメンボ亜科 Microveliinae (カタビロアメンボ科 Veliidae) の体長 1.5 – 2.1 mm のアメンボで、本州 (東海・北陸地方以西)、四国、九州および琉球 (喜界島、奄美大島、徳之島、沖永良部島、沖縄島) に分布する (福井県自然環境保全調査研究会昆虫部会, 1998: 林・宮本, 2005: 稲垣・石田, 2006) 日本固有種である (林・宮本, 2005)。京都府と滋賀県においてこれまで未記録であった本種を発見したので報告するとともに、その生息環境について付記する。証拠標本は京都府立大学応用昆虫学研究室に収蔵した。

採集記録と生息地

京都府: 京都市左京区の3地点で成虫を確認した (図1)。岩尾谷川と高谷川はともに高野川の支流である。

採集地1: 京都市左京区大原小出石町 岩尾谷川
採集日 (個体数): 4. VI. 2009 (無翅型雌成虫2個体,

無翅型雄成虫4個体), 4. VI. 2010 (無翅型雌成虫1個体, 無翅型雄成虫3個体), 26. IX. 2011 (無翅型雌成虫2個体, 長翅型雌成虫1個体)

本種を確認した地点は岩尾谷川 (低水路の幅: 約5 m, 水深: 10–80 cm) の緩流部, および同河川の水たまり (周囲の長さ: 約80 cm) で, 底質はともに礫であった (図2)。緩流部において本種は浮遊しているスギの落葉付近の水面上でナガレカタビロアメンボ *Pseudovelia tibialis* Esaki et Miyamoto とともに生息していた。水たまりにはスギの落葉が堆積しており, 水面上に出ている落葉と水たまりの汀線付近の水面上で生息を確認できた。

採集地2: 京都市左京区大原小出石町 高谷川
採集日 (個体数): 26. IX. 2011 (無翅型雌成虫1個体, 無翅型雄成虫1個体, 5齢幼虫1個体)

スギ植林地を流れる高谷川の一次支流 (低水路の幅: 約1 m, 水深: 5–30 cm) に存在する水たまり (周囲の長さ: 20–50 cm) で, 底質は礫であった (図3)。

採集地3: 京都市左京区鞍馬貴船町 貴船川
採集日 (個体数): 23. V. 2011. (無翅型雌成虫1個体, 無翅型雄成虫2個体)

* 京都府立大学大学院生命環境科学研究科応用昆虫学研究室
Laboratory of Applied Entomology, Graduate School of Life and Environmental Sciences, Kyoto Prefectural University,
Kyoto 606-8522, Japan



図1. チャイロケシカタビロアメンボの雌雄成虫（左：無翅型雌，京都市左京区鞍馬貴船町産。右：無翅型雄，京都市左京区大原小出石町産）。スケール：0.5 mm.

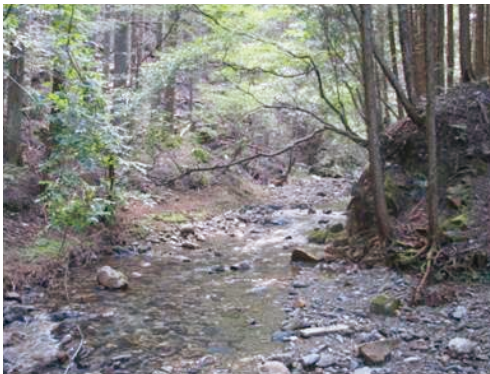


図2. 岩尾谷川における生息環境（左：岩尾谷川，右：生息場所の緩流部。京都市左京区大原小出石町，2011年9月26日撮影）



図3. 高谷川における生息環境（左：高谷川の一次支流，右：生息場所の水たまり。京都市左京区大原小出石町，2011年9月26日撮影）



図4. 貴船川における生息環境（左：貴船川の一次支流, 右：生息場所の水たまり, 京都市左京区鞍馬貴船町, 2011年5月23日撮影）



図5. 大津市における生息環境（左：生息場所横の林道, 右：生息場所の水路, 伊香立生津町, 2011年7月16日撮影）

貴船川の一次支流（低水路の幅：約50 cm, 水深：約10 cm）に存在する水たまり（周囲の長さ：約50 cm）で、底質は礫であった（図4）。

滋賀県：大津市の1地点で生息を認めた。本種はコセアカアメンボ *Gerris (Macrogerris) gracilicornis* (Horváth) の成虫および幼虫とともに採取された。

採取地：大津市伊香立生津町 真野川

採取日（個体数）：16. VII. 2011.（無翅型雄成虫2個体, 5齢幼虫9個体, 4齢幼虫6個体, 3齢幼虫2個体, 2齢幼虫3個体, 1齢幼虫2個体）

本種を確認した地点は真野川の一次支流（低水路の幅：約50 cm, 水深：約20 cm）であった（図5）。水路の底質は有機質土で、コンクリート製水路の壁面にはコケが生育し、周囲はフキなどの植生で被覆されていた。

生息場所の環境

京都府における生息場所は河川緩流部、および林・宮本（2005）が指摘しているように源流域の薄暗い森林内の狭い水たまりであった。一方、滋賀県の生息場所は、里山の二次林の林道沿いにある水路の緩流部であった。

引用文献

- 福井県自然環境保全調査研究会昆虫部会（1998）福井県昆虫目録（第2版）。福井県自然環境保全調査研究会昆虫部会 編。福井県県民生活部自然保護課。福井。80。
- 林 正美・宮本正一（2005）半翅類。日本産水生昆虫科・属・種への検索。川合禎次・谷田一三 編。東海大学出版会。神奈川。291-278。
- 稲垣政志・石田和男（2006）チャイロケシカタビロアメンボを鈴鹿市で採集。ひらくら, 50（1）：13。